平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名　株式会社 パイオラックス　　上場取引所　東
コード番号　5988　URL　http://www.piolax.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 島津　幸彦
問合せ先責任者　(役職名) 経営管理部長　(氏名) 長村　由紀夫　TEL 045-731-1211

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,789	△3.4	1,828	△32.2	2,083	△31.9	1,383	△28.4
23年3月期第2四半期	22,559	33.0	2,698	—	3,058	411.6	1,933	358.8

(注) 包括利益　24年3月期第2四半期　1,277百万円　(△12.2%)　23年3月期第2四半期　1,454百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	109.88	—
23年3月期第2四半期	152.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,195	47,527	84.0
23年3月期	55,861	46,703	83.1

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　47,207百万円　23年3月期　46,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	15.00			
24年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△1.9	4,000	△18.3	4,300	△23.6	2,800	△21.0	221.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	13,084,700 株	23年3月期	13,084,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	605,988 株	23年3月期	445,852 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	12,593,028 株	23年3月期2Q	12,638,794 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興に向けて企業の設備投資や個人消費に改善の兆しが見られたものの、欧州の金融不安に伴う欧米経済の停滞や、円高・株安の進行により景気は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、現在ではほぼ震災前の生産状況に戻ってきてはおりますが、主に上半期前半において地震による直接的な被害に加え、原材料・部品調達に対する支障によって生産・販売活動が十分に出来なかった結果、国内生産台数は3,902千台と前年同期比18.5%の減少となりました。

このような需要環境のもと当社グループといたしましては、震災による部品供給問題にいち早く対応してお取引先へのニーズを確実に補足し、併せて新興国を中心とした拡販活動を継続的に推進してまいりましたが、連結売上高は前期比3.4%減の217億８千９百万円となりました。

一方利益面におきましては、より一層の合理化等を推進いたしましたが主に減収になったことにより連結営業利益は18億２千８百万円（前期比32.2%減）、連結経常利益は20億８千３百万円（前期比31.9%減）、連結四半期純利益は、13億８千３百万円（前期比28.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（自動車関連等）

新興国を中心としたグローバル拡販を積極的に推進しましたが、東日本大震災の影響により、売上高は203億８千万円（前期比4.4%減）となりました。一方利益面においては、収益改善活動を推進いたしましたが減収により、営業利益は20億２千１百万円（前期比30.0%減）となりました。

（医療機器）

既存の製品拡販に加え新製品の積極的な営業活動を推進した結果、売上高は14億９百万円（前期比12.6%増）となり、営業利益は９千６百万円（前期比20.6%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期の資産合計は、現金及び預金等の減少がありましたが、受取手形及び売掛金、有形固定資産等の増加により３億３千４百万円増加し、561億９千５百万円となりました。

負債合計は、未払法人税等の減少により４億８千９百万円減少し、86億６千８百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の増加により８億２千３百万円増加し、475億２千７百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益20億７千１百万円および減価償却費14億５千８百万円等の収入要因がありましたが、法人税等の支払額12億９千３百万円および有形固定資産の取得による支出20億５千８百万円等の支出要因により、前連結会計年度末と比較して16億７千８百万円（12.7%）減少し、当第２四半期連結会計期間末には115億２千４百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費および売上債権の増加額等により10億７千万円の収入（前年同期比 50.4%減）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により23億９千５百万円の支出（前年同期比 113.9%増）となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、△13億２千５百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出や配当金の支払額等により３億４千４百万円の支出（前年同期比 282.6%増）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当年度の業績予想については、概ね予想の範囲内で推移しているため、平成23年８月８日の通期連結業績及び配当予想に関するお知らせから変更ありません。

なお、現時点では当社タイ生産拠点で洪水による直接の被害はありません。

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	44,000	4,000	4,300	2,800

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,035	11,357
受取手形及び売掛金	9,971	11,034
有価証券	287	187
商品及び製品	2,500	2,663
仕掛品	1,112	1,040
原材料及び貯蔵品	1,066	1,081
その他	1,590	1,665
貸倒引当金	△31	△36
流動資産合計	29,532	28,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,005	4,196
機械装置及び運搬具（純額）	4,195	4,298
工具、器具及び備品（純額）	1,440	1,590
土地	4,672	4,740
リース資産（純額）	30	35
建設仮勘定	646	788
有形固定資産合計	14,991	15,649
無形固定資産	697	547
投資その他の資産		
投資有価証券	9,867	9,930
その他	773	1,075
貸倒引当金	△0	△1
投資その他の資産合計	10,640	11,004
固定資産合計	26,329	27,202
資産合計	55,861	56,195

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期連結会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,124	2,433
短期借入金	184	313
未払法人税等	1,352	688
賞与引当金	691	700
引当金	136	11
その他	2,433	2,379
流動負債合計	6,923	6,526
固定負債		
引当金	47	64
資産除去債務	17	18
負ののれん	34	17
その他	2,134	2,042
固定負債合計	2,234	2,141
負債合計	9,158	8,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,696
利益剰余金	42,976	44,170
自己株式	△353	△630
株主資本合計	48,280	49,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	429	277
繰延ヘッジ損益	―	△5
為替換算調整勘定	△2,277	△2,261
その他の包括利益累計額合計	△1,848	△1,989
少数株主持分	271	319
純資産合計	46,703	47,527
負債純資産合計	55,861	56,195

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
売上高	22,559	21,789
売上原価	16,626	16,655
売上総利益	5,933	5,134
販売費及び一般管理費	3,235	3,305
営業利益	2,698	1,828
営業外収益		
受取利息	11	11
受取配当金	8	11
持分法による投資利益	391	175
その他	75	90
営業外収益合計	486	288
営業外費用		
支払利息	7	6
固定資産廃棄損	8	3
為替差損	90	8
その他	20	14
営業外費用合計	126	33
経常利益	3,058	2,083
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	－
災害損失引当金繰入額	－	11
災害による損失	－	0
特別損失合計	17	11
税金等調整前四半期純利益	3,041	2,071
法人税等	1,094	663
少数株主損益調整前四半期純利益	1,947	1,407
少数株主利益	13	23
四半期純利益	1,933	1,383

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,947	1,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△44
繰延ヘッジ損益	－	△5
為替換算調整勘定	△336	32
持分法適用会社に対する持分相当額	△92	△111
その他の包括利益合計	△492	△129
四半期包括利益	1,454	1,277
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,461	1,242
少数株主に係る四半期包括利益	△6	35

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,041	2,071
減価償却費	1,466	1,458
負ののれん償却額	△18	△17
持分法による投資損益（△は益）	△391	△175
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17	－
デリバティブ評価損益（△は益）	△14	△13
退職給付引当金の増減額（△は減少）	12	15
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△7	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	0	8
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△6	△10
工場移転損失引当金の増減額（△は減少）	－	△17
災害損失引当金の増減額（△は減少）	－	△34
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△13	5
受取利息及び受取配当金	△19	△22
支払利息	7	6
固定資産廃棄損	8	3
売上債権の増減額（△は増加）	△964	△1,045
たな卸資産の増減額（△は増加）	△225	△103
仕入債務の増減額（△は減少）	108	202
その他	83	△26
小計	3,084	2,305
利息及び配当金の受取額	49	65
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△969	△1,293
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,157	1,070
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	90	－
有価証券の売却による収入	－	100
有形固定資産の取得による支出	△1,147	△2,058
有形固定資産の売却による収入	27	8
無形固定資産の取得による支出	△69	△46
投資有価証券の取得による支出	△1	△104
その他	△18	△295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,119	△2,395

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	66	125
少数株主からの払込みによる収入	21	13
自己株式の取得による支出	△0	△277
配当金の支払額	△163	△195
少数株主への配当金の支払額	△0	－
その他	△13	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89	△344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△96	△9
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	850	△1,678
現金及び現金同等物の期首残高	11,077	13,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,928	11,524

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	21,308	1,251	22,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―
計	21,308	1,251	22,559
セグメント利益	2,885	80	2,966

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,966
全社費用（注）	△296
セグメント間取引消去	23
その他の調整額	6
連結損益計算書の営業利益	2,698

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位:百万円）

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	20,380	1,409	21,789
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－
計	20,380	1,409	21,789
セグメント利益	2,021	96	2,117

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位:百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,117
全社費用（注）	△313
セグメント間取引消去	24
その他の調整額	△0
連結損益計算書の営業利益	1,828

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第２四半期連結会計期間において、平成23年８月８日開催の取締役会における自己株式の取得決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この自己株式の取得及び単元未満株式の買取りにより、自己株式が277百万円増加し、当第２四半期連結会計期間末において自己株式が630百万円となりました。

（７）重要な後発事象

当社は、平成23年10月11日開催の取締役会において、当社連結子会社である㈱パイオラックス メディカル デバイスの新規工場建設を決議いたしました。

１．建設の理由

医療機器に対する需要の増加に伴い、生産能力拡大を図るため。

２．建設する工場の概要

資産の内容：㈱パイオラックス メディカル デバイス生産拠点

所在地：神奈川県横浜市戸塚区上矢部工業団地

※敷地面積：3,188 ㎡

第一期建設予定建物延床面積：5,012 ㎡

（将来予定する第二期工事竣工時：6,742 ㎡）

※なお、当該敷地は株式会社パイオラックスが所有しております。

３．予定投資総額

約20億円（新工場建設費用、新規生産設備等投資費用）

４．竣工予定

平成25年９月予定

５．子会社売上計画

平成28年３月期に50億円を中期経営計画で見込んでおります。

６．今後の業績に与える影響

当該計画による平成24年３月期の当社業績予想への影響は軽微です。